

禱ありきハ求秋ハ穀々々の心もや三月三日流福馬神樂有り民留三月三日と稱して多々ハヒコ十の畧後なりとを当社も少彦名命由ハ当日多々を召召しめや又月八日此新禱後新に月八日神樂社中ハ渡神十一月六日より七日と神樂渡新神を二人を人ハ古屋村より召し召す一人ハ本根沢村より召し召す大友氏下社家二二家ありを次ハ古屋流とて十人あり神事の時ハ神社ハ多仕上小又境古人といふもの五人あり

三人ハ三人持持三人ハ三人持持按き々に境古人といふ從ハ古一臂示をちて山頂を削るの名もやといふ事類ふ一に山頂神祠ハ保良波山と云ふ名あり岩城権し知友又天國寺を水宮のといふ名有り神ハ山号も号をな稱事神居の本とハあに誕生の釋迹なり云一時もあれを仏者の斗いよてち号を稱しりもや但山号ハ形あり山の名を是ハ一概ハ論をべりだそ并義中あり是處山の下に住し傳れハ畧之